

# 外国語科における学校間の接続に関する調査研究

## 研究テーマ

### 小中高の相互理解に基づく効果的な外国語教育に関する研究

学校間の円滑な接続のためには、指導内容や指導方法、児童生徒の実態等の相互理解が重要である。その相互理解の方法として、小中部会では学習内容をリスト化した資料、中高部会では教師と生徒を対象としたアンケートを活用し、本研究テーマに迫った。

## 1 調査研究の視点

外国語教育における小学校と中学校の接続の取組は着実に進んでいるが、学習内容を連携させたカリキュラムの作成は、中学校の学区ベースで8.6%に過ぎない(2011年度文科省調査)。小中の円滑な接続のためには、まず、互いの学校で行なわれている外国語教育の内容について知る必要がある。そこで、何を(学習内容)、どのように(教材や指導方法)学び、それがどこまで身に付いているのか(児童や生徒の学習成果)を知るための方策を小中部会では探る。中学校と高等学校との接続については、中学校の外国語教育の内容を高等学校に接続させるための方策を提案する。中高部会では、「中学生の英語学習の実態を踏まえた効果的な学習指導の在り方」を課題として捉え、生徒の中学校での英語学習を高校の英語学習に円滑に結びつける効果的な学習指導の在り方を検討する。中学生の英語学習の実態から課題を考察し、中学校と高等学校の教師が相互理解を深めながら、その解決策を具体的に検討していく。

## 2 研究の取組

小中接続に関しては、外国語活動の学習内容をリスト化した資料を作成・活用することで、互いの校種で行われている外国語教育の情報の共有を目指す。また、中学校の学習内容を行動目標で示した資料等も試作する。中高接続に関しては、上記リストを高等学校の教師に示すことで、中学校の学習内容を高等学校に発信すると共に、文法項目と学習意欲・学習態度の2つの領域について、高等学校への入学を控えた中学校3年生の英語学習の実態を把握して、「英語学習に関して高校入学時に生徒が抱えやすい問題の明確化」とその解決策の検討に取り組む。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

小中部会では、小学校外国語活動「自信あり!リスト」、中学英語「Can-do リスト」を作成した。「自信あり!リスト」は、外国語活動の学習内容を学年ごとにまとめた資料であり、「Can-do リスト」は中学校3年間の学習内容を行動目標で示した資料である。児童、生徒及び小中高の教師が学習内容を把握し、情報を共有することができた。中高部会では、調査から生徒の文法項目の理解度の高低を分類した。また、学習意欲や学習態度において、「読む」活動より「聞く・話す」活動に生徒は強い興味があることも明確にした。

### (2) 課題

小中部会では、作成したリストの調査機能を活用し、児童の学習の自信度や生徒の学習の達成度を、授業改善等に活かす方法を探るのが今後の課題である。中高部会では、文法指導に改善点があることを踏まえ、文法指導と「読む」「聞く・話す」活動をいかに関連づけ効果的な学習指導を展開するかを課題と捉える。

## 【小学校外国語活動・中学校外国語科】

### 1 はじめに

平成23年度から、新学習指導要領が小学校において全面実施となった。これにより、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、いずれの学年においても年間35時間の授業が行われることになった。

本年度は、中学校において新学習指導要領が全面実施となった。中学校外国語科においては、4技能を総合的に育成することでコミュニケーション能力の基礎を養うことが目標として定められ、授業時数が週3時間（年間105時間）から週4時間（年間140時間）に増加となった。また、授業時数の増加に伴い、より活発な言語活動を授業において展開していくために、学習する語数も「900語程度まで」から「1200語程度」に増加した。これらは、学習指導要領の改訂に伴う「教育内容に関する主な改善事項」の一つである「外国語教育の充実」に位置付けることができる。小学校の外国語活動では、原則として英語を取り扱うことになっている。よって、我が国の英語教育は、小学校5年生から大学4年生まで12年間の時間的な幅で考えることができるようになった。異校種間の接続を大切にし、それぞれの学校が適切にその役割を果たしつつ一貫した教育を行なうことで、コミュニケーション能力を育成していくべきである。

### 2 調査研究の視点

#### (1) 小学校外国語活動及び中学校外国語科の現状と課題

英語教育における小中連携では、様々な取組が行われている。山本(2011)は、「TTによる交流授業」や「小中教員による合同研修会」などの実践を通し、アンケートを活用しながら、小中連携を要素（連携で何を把握すべきか）と形態の観点から研究し、それぞれの方法の達成状況をまとめている。

＜表1＞連携の各形態における連携の要素の達成状況

連携の形態 連携の要素	情報交換会	授業参観	TTによる交流授業	研究討議
指導目標の把握	◎	△	○	◎
指導内容の把握	○	○	◎	◎
指導方法の把握	○	○	◎	○
児童生徒の実態把握	△	◎	◎	○
カリキュラムの検討	○	△	◎	△
協力体制づくり	○	△	○	△

(◎十分に達成したと思われるもの、○達成できたと思われるもの、△達成が不十分だと思われるもの)

ここで、連携の要素について確認する。連携の要素について、そのイメージを掴むために、各要素として想定される内容の例をまとめてみたのが、次の表2である。

＜表2＞連携の要素の具体例

	要素	内容の例
1	指導目標の把握	小学校では、「単語や表現の定着を目標とせず、中学校で意欲的に外国語の学習に取り組めるように興味を持たせつつ、外国語に慣れ親しませる活動を行なっている」が、中学校では、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことのコミュニケーション能力の基礎を養う指導」を行なっていることを小中の教師が相互に把握している。
2	指導内容の把握	自分の学区の小学校の外国語活動について、「‘Hi, friends!’を使って年間35時間の計画で、聞くことや話すことを中心にALTとTTで楽しく活動させながら学習している」ことを中学校の教師が把握している。
3	指導方法の把握	小学校では「歌やチャンツ、ペア活動やグループ活動を積極的に活用し、児童の興味・関心を生かして『話したいこと』や『聞いてみたいこと』を柱に授業を組み立てている」ことを中学校の教師が把握している。
4	児童生徒の実態把握	これから指導する児童生徒について、英語の音声や表現への慣れ親しみに関して、どの程度の個人差があるのかなどを把握している。
5	カリキュラムの検討	小中の教師が、「指導目標の把握」「指導内容の把握」「指導方法の把握」「児童生徒の実態の把握」をもとに、それぞれの工夫や考え方について意見を交換し、一貫した指導目標のもとに、指導内容に系統性のあるカリキュラムを作成している。
6	協力体制づくり	小学校の外国語活動を担当している教師と中学校の英語科の教師が、必要に応じて話し合いを持つことができる。

表1に示されている通り、山本は、小学校の外国語活動と中学校の英語の授業を円滑に接続するための形態として、「TTによる交流授業」が効果的だと報告している。「交流授業では、指導計画の作成段階において、指導目標、指導内容、指導方法を把握する必要がある。授業中の観察や授業後のアンケートから、児童生徒の実態把握も深まる。直山(2008)は、カリキュラムの要素として、指導目標、指導内容、指導方法の3点を挙げている。4つの連携の形態の中で、カリキュラムの検討が単独で可能なのは『TTによる交流授業』だけである。そして、学習者の中学校における英語学習入門期の負担感を軽減するためには、学習者の視点に立ったカリキュラムの検討が必要であり、この点において、小中の教師がTTで行う交流授業が有効である」と、山本は結論付けている。

「TTによる交流授業」は効果的であるが、時間割の調整や打合せ時間の確保など、実施するためにはかなりの時間と工夫が必要である。TTで授業を実施するとまではいかなくとも、小中の英語教育を滑らかに接続するためには、指導目標の一貫性、指導内容の系統性、指導方法の継続性を踏まえたカリキュラムの連携は重要である。では、小中連携したカリキュラムの作成はどのような状況なのであろうか。

文部科学省における2011年度「公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査」によると、外国語教育に関して、「小中連携したカリキュラムの作成」に取り

組んでいる割合は、平成22年度実績で8.6%であり、23年度は12.3%が取り組む計画であるという。平成21年度実績が5.9%であることを考えれば、カリキュラムの作成に関わる小中連携は着実に進んでいるようである。ちなみに、平成22年度の実績で「情報交換」を行なっているのは53.7%（平成21年度は45.6%）、「交流」を行なっているのは、43.4%（同36.8%）である。他の連携の方法と比較して、「小中連携したカリキュラムの作成」に取り組んでいるのは全体の約1割であり、小中連携におけるカリキュラムの重要性を考えれば、さらなる連携が必要であると言える。

## （2）小学校外国語活動及び中学校外国語科の課題

外国語教育における小中連携は、全体的には向上しているが、カリキュラムの作成に関する連携は十分には進んでいないのが現状である。よって、指導目標や指導内容、指導方法等に関する共通理解を深める取組や手立ての充実が課題であると言える。

## 3 研究テーマ

**小学校外国語活動「自信あり!リスト」及び中学英語「Can-doリスト」の作成  
～小学校と中学校における外国語教育の円滑な接続を目指して～**

この調査研究では、小中一貫校や教育特区ではない、一般の公立小中学校の接続について考える。一つの中学校が、複数の小学校から新入生を迎える。そのような場合において、その複数の小学校に合わせて、中学校がカリキュラムを作成するのは困難であろう。また、教育環境や児童の実態が異なる複数の小学校が、同じカリキュラムで授業を行うことはさらに困難だと思われる。しかし、このようなケースを含め、いかなる場合においても、教科・領域の接続の大切さは変わらない。時間を含め、現場における様々な制約の中で、互いの学校で行なわれている外国語教育の内容を効率よく分かち合うことが、小学校外国語活動及び中学校外国語科の課題である。そして、そのような前提に立ち、異校種間の接続の可能性を探るのが、この調査研究のねらいである。

外国語教育における小中の円滑な接続のために、小中部会では、次の3点について相互理解を深めるべきであると結論付けた。

- ①何を学んでいるのか。[学習内容に関すること]
- ②どのように学んでいるのか。[教材や指導方法に関すること]
- ③何がどこまで身に付いているのか[児童や生徒の学習の成果に関すること]

そして、その実現のために、学習内容をリスト化した資料等の作成に取り組むことにした。

## 4 研究の取組

### (1) 内容

- ① 小学校外国語活動「自信あり!リスト」及び中学英語「Can-do」リストの作成  
小学校と中学校において、一定期間の最終目標として「Can-do リスト」を作成する。ただし、小学校の外国語活動は「コミュニケーション能力の素地」を養うことが趣旨であり、知識や技能として英語を身に付けることを目標とはしていない。そこで、小学校段階では、「Can-do リスト」という形式で「できるか、できないか」を問うのではなく、外国語学習に関する項目について、どれくらい自信があるか（慣れ親しんでいるか）を問うリスト（以下、「自信あり!リスト」）を作成する。
- ② 小学校外国語活動「自信あり!リスト」及び中学英語「Can-do リスト」にはどのような効果があるか

### ア 小学校外国語活動「自信あり!リスト」の期待できる効果

#### (i) 中学校の教師が、小学校で何を学んできたのかを知ることができる

「自信あり!リスト」は、5年生または6年生修了の段階で「自信をもって取り組めてほしい」項目と、その項目に関する言語材料が一覧となっている。したがって、自分の学区の小学校が作成したリストの項目を確認すれば、入学してくる新1年生が「何を学んできたのか」を、中学校の教師は知ることができる。

#### (ii) 中学校の教師が、小学校でどのように学んできたのかを知ることができる

「自信あり!リスト」には、その項目を扱っている‘Hi, friends!’の単元や、その項目を学習するときに行った言語活動等の情報が記載されている。したがって、リストを確認することで、ある学習項目がどのように扱われたのかを知ることができる。同じ教材をもう一度活用することで学習に取り組みやすくなり、小学校の学習方法を踏まえて少し難易度をあげた活動を設定したりするなど、小学校での実態を踏まえた授業を中学校で展開できる。

#### (iii) 中学校の教師が、子どもたちの学習の成果を把握することができる

学年末に、6年生の担任が「自信あり!リスト」を配布し、子どもたちに自己評価させる。その結果を、進学先の英語教師に、入学後の英語学習の資料として提供する。中学校の英語教師は、どのような学習項目に、どれくらいの子どもたちが、どの程度慣れ親しんでいるのかを事前に知ることができる。これは、4月以降の授業を計画していくうえでの貴重な資料となる。

#### (iv) 小学校の教師が、子どもたちに学習の目標（自信をもってできるようになってほしい項目）を示すことができる

5年生または6年生の初めの段階で、「自信あり!リスト」を示すことで、1年間の学習の目標を知らせることができる。「英語で自信をもってできるようになってほしい項目」が、リストには書かれているからである。

(v) 小学校の教師が、子どもたちの学習の成果を把握することができる

5年生または6年生の学年末にリストを自己評価させることで、子どもたちの学習の成果を小学校の教師が把握することができる。また、学年の途中や、6年生に5年生のリストを自己評価させてみるなど、子どもたちの実態や指導上の必要性に応じ、様々な活用法が考えられる。

イ 中学英語「Can-do リスト」の期待できる効果

(i) 中学校の教師が、生徒たちに学習の目標（何ができるようになればよいか）を示すことができる

各学年の初めの段階で、中学校の「Can-do リスト」を示すことで、3年間の英語学習の目標を生徒たちに知らせることができる。「英語で何ができるようになればよいか」が、リストには書かれているからである。

(ii) 中学校の教師が、指導上の行動目標を確認することができる

「教科書を終わらせればよい」という言語材料の理解のみに終始する授業ではなく、言語材料を活用して何をできるようにするのかという指導上の行動目標を、作成したリストに基づいて中学校の教師が確認することができる。

(iii) 中学校の教師が、生徒たちの学習の成果を把握することができる

中学校の卒業時にリストを自己評価させることで、生徒たちの学習の成果を把握することができる。また、2年生の段階でリストを自己評価させ、その学習の成果を把握することで、その後の指導計画を練り直すなど、生徒たちの実態と指導上の必要性に応じて、様々な活用法が考えられる。

(iv) 高等学校の教師が、中学校で何を学んできたかを知ることができる

中学英語「Can-do リスト」は、中学校卒業の段階で「英語で何ができるようになればよいか」という項目が一覧となっている。したがって、生徒たちが卒業した中学校の作成したリストの項目を確認すれば、入学してくる新1年生が何を学んできたのかを、高等学校の教師は知ることができる。

(v) 高等学校の教師が、中学校でどのように学んできたかを知ることができる

中学英語「Can-do リスト」の関連資料である「リスト項目説明資料」には、その項目を扱っている中学校の英語の教科書の単元や、その項目を学習するときに行った主な言語活動等の情報が記載されている。したがって、その資料を確認することで、ある学習項目がどのように扱われたのかを知ることができる。同じ教材をもう一度活用することで学習に取り組みやすくしたり、中学校の学習方法を踏まえて少し難易度をあげた活動を設定したりするなど、中学校での実態を踏まえた授業を高等学校で展開できる。

## (2) 成果

### ① 小学校外国語活動「自信あり!リスト」

資料1は、小学校外国語活動「自信あり!リスト」5年生用、資料2は、同リストの6年生用である。これらは、あくまで‘Hi, friends!’に即して作成した見本であり、各小学校は自校の教育課程に基づき、独自のリストを作成することになる。なお、小学校外国語活動「自信あり!リスト」について、いくつか補足説明をする。

(ア) 項目は、学習指導要領の〔コミュニケーションの場面〕を参考にしつつ、現場での指導の実態に合わせて設定した。

(イ) 自信度は、顔の表情のマークによる4段階評価とした。

(ウ) リストの項目には、そこで使用した英語の基本的な英語を掲載した。

「自信あり!リスト」に掲載されている英語は、児童が自分で読むことを前提にしているわけではない。児童に自信度を記入させるときに、必要に応じてALTや学級担任が読み上げるなど、学習活動を思い出させるための手掛かりとして掲載した。なお、資料3の「Let's enjoy English カルテ」は、A4判1枚で1年間(35時間分)の学習内容が、評価の観点ごとに確認できる資料である。一番右の欄には、中学校の教科書に対応する単元が記入されている。「自信あり!リスト」に加えて、小学校でこのようなカルテも作成すれば、中学校の教師が一目で小学校の学習内容を概観し、自らの指導内容との繋がりを知ることができる。また、作成したカルテは、児童に配布して、1年間の学習に見通しを持たせたり、小学校での学習が確かに中学校の学習に繋がっていることを意識させたりしてもよいであろう。なお、「Let's enjoy English カルテ」については、6社の中学校教科書に対応した資料を作成した。

### ② 中学英語「Can-doリスト」

資料4は、中学英語「Can-doリスト」である。このリストもあくまで見本であり、各中学校は、自校の教育課程に基づき、独自のリストを作成することになる。なお、中学校「Can-doリスト」についても、いくつか補足説明をする。

(ア) リストの作成に当たっては、「英検3級Can-doリスト」と北原延晃氏が作成した英検のための「3級Can-doリスト」を参考にさせていただいた。

(イ) 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能について、6つの項目を設定した。

(ウ) チェック欄は、「できる」と判断する項目に、生徒が自分で○をつける形式とした。

資料5の「リスト項目説明資料」は、中学英語「Can-doリスト」の効果(v)に関する資料である。リストだけでは、生徒たちが、何を使って(教科書などの教材)、どのように(言語活動など)学んだのかは分からない。そこで、それぞれの項目を身に付けさせるために、どのような学習活動を行なったのかを説明するための関連資料を作成した。リストと合わせて、この資料を高等学校に提供することで、中学英語の学習内容や言語材料を、Can-doリストの項目と関連させて理解することができる。また、中学校の授業と接続させて高等学校の授業を展開するためにも、具体的な学習内容や言語材料の扱い方などの情報は極めて有効であろう。

## 5 成果と課題

今年度の成果は、小学校外国語活動「自信あり!リスト」、中学英語「Can-doリスト」をはじめとする資料1～資料5を作成できたことである。また、資料を作成するために、小学校と中学校の教師が行った協議そのものが、互いの学校における外国語教育の理解を深めるための貴重な研修の機会にもなった。

しかし、リストを作成することは、私たちの最終目的ではない。リストを活用して小中の接続を滑らかにして連携を深めたり、高等学校において、中学校の外国語教育の理解を深めたりすることが目的である。この調査研究は2年計画である。まだ構想の段階ではあるが、2つの観点から、2年次以降の課題及び展望について述べてみたい。

### (1) リストの有効性の検証と内容の改善

小学校外国語活動「自信あり!リスト」の有効性の検証を行なう。具体的には、6年生の学年末に児童が記入したリストを、進学先の中学校の教師に渡し、小中接続の観点から役に立つものであるのかをアンケートやインタビュー等の方法で調査する。また、改善点についても調査し、その意見をリストに反映させていく。

また、中学英語「Can-doリスト」の有効性の検証も行なう。中学校3年間の英語学習を終えた生徒たちに、リストを配布して回答してもらおう。さらに、進学先の高等学校の英語教師に協力を依頼し、「Can-doリスト」や「リスト項目説明資料」が中学校の英語教育の理解に有効であるのかを調査する。また、リストの回答結果が、中高接続という観点から有効であるかも調査する。また、リストに対する改善点等があれば、その意見を反映させていく。

### (2) リストの回答結果の分析と授業づくり

リストの回答結果を調査研究委員で分析する。集計結果から、多くの児童が自信を持っている項目や、多くの生徒たちが「できる」と回答する項目が分かるかもしれない。反対に、ほとんどの児童生徒が、自信がないと回答したり、できないと回答したりする項目が明らかになることもあるであろう。

例えば、後者のケースでは、小中の調査研究委員が「なぜ、自信がないのか？」を協議し、アイデアを出し合い、外国語活動の学習指導計画を作成することも可能である。また、中学校の教師は、その項目を中学校で扱う際に、リストで明確となった実態を踏まえ、繰り返しを意識した丁寧な指導を行なうことが望ましい。リストを通して得た貴重な児童の生の声を、授業づくりに生かすことができる。

## 6 おわりに

医者が患者に対して治療を行うとき、その患者の現在の状態を慎重に診断するのはもちろん、今までに受けてきた投薬を含む治療の経過など、様々な情報から総合的に判断を行ったうえで、治療を行なうのは当然である。このようなプロセスを経ずに、いきなり自らの経験や思い込みで治療を行う医者に対して、患者は自らの大切な身体や命を預けることはできない。

では、私たちの教育の世界ではどうだろうか。4月、新学期に新しい子どもたちを受け持つ。そのとき、この子どもたちが前学年までに受けてきた教育内容等について、十分に情報を集め、総合的に判断をしたうえで、授業を行っているだろうか。教員の子どもに対するその判断は、医者对患者に対する診察行為に匹敵する、責任

に基づいた誠意あるプロセスを経ているのだろうか。異なる環境で、様々な教育を受けてきた児童や生徒に対して、日々の仕事の多忙さも手伝い、十分な情報収集とそれに基づく判断ができないままに、多くの教師は授業開きを迎えてしまうこともあるのではないかと思う。教科・領域における小中の接続や連携の必要性は、すべての教師たちが認めるところであろう。教育現場で、児童や生徒たちを前にしてよりよい授業をしたいと考えている教師と共に、この報告を土台の一つとして、小中の接続のよりよい方法を検討し、提案していきたいと思う。

(参考文献)

文部科学省 小学校学習指導要領解説「外国語活動編」平成20年8月

文部科学省 中学校学習指導要領解説「外国語編」平成20年9月

文部科学省 「生きる力」平成22年8月

山本弘美『小学校外国語活動必修にともなう小中連携の在り方』, 2011

直山木綿子『ゼロから創る小学校英語』文溪堂, 2008

日本英語検定協会「英検Can-doリスト」

北原延晃「英検3級Can-doリスト」英語基本指導技術研究会ホームページより

## 【中学校・高等学校外国語科】

### 1 はじめに

中央教育審議会は、初等中等教育分科会教育課程部会を中心に学習指導要領全体の見直しについて審議を積み重ね、平成20年1月17日、中央教育審議会総会において「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」を取りまとめた。

この答申の「6. 教育課程の基本的な枠組み」の「(4) 発達の段階に応じた学校段階間の円滑な接続」には、平成19年6月の学校教育法の一部改正において改められた各学校段階の目的や目標等を踏まえ、各学校段階の教育が果たすべき役割として、次のことが述べられている。

- 高等学校教育は、義務教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性等を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うという役割を担っている。
- それぞれの学校段階において、その役割をしっかりと果たすことが何よりも重要であるが、それに加え、教育課程の改善に当たっては、発達の段階に応じた教育課程上の工夫の観点から、学校段階間の円滑な接続に留意する必要がある。
- 中学校と高等学校の接続については、中学校において義務教育段階で身に付けるべき国民としての素養である基礎・基本をしっかりと定着させるとともに、高等学校においては、必要に応じこの基礎・基本を補いながら、高等学校段階の学習に円滑に移行することを重視する必要がある。このため、学習指導要領上、例えば、外国語では中学校教育からの円滑な移行をねらいとした基礎科目を置くなどの工夫が必要である。高校生の約4割が平日に学校の授業以外に全く、またはほとんど勉強していないという状況を踏まえ、中学校段階から継続して語学や漢字などの各種検定に挑戦させたり、中学校での職場体験と一貫性・連続性をもったキャリア教育などにより、学習意欲を高める必要がある。

こうしたことから、中学校と高等学校の接続については、中学校において基礎・基本をしっかりと定着させるとともに、高等学校においては、必要に応じこの基礎・基本を補いながら、高等学校段階の学習に円滑に移行することを重視することが求められている。

### 2 調査研究の視点

#### (1) 英語科の現状

このように中学校から高等学校への学習の円滑な移行が重視されているにもかかわらず、中学校と高等学校のそれぞれの英語学習の実態について、中学校及び高等学校教師の相互理解が不足している現状がある。高等学校では、英語の授業で生徒が中学校でどのような学習指導を受けてきたかについて、十分な情報の共有化に取り組むことなく授業を行っている状況は否定できない。生徒の中学校での既習内容の確認に時間を割く、あるいは、中高の橋渡しとなる部分を看過するといった事態も起こっている。また、中学校と高等学校の「橋渡し教材」や授業での生徒への質問をとおして、生徒の中学校での英語学習に関する情報収集に取

り組んではいるが、中学校の様子を十分に把握しているとは言い難い状況もある。

こうした現状は、高等学校での学習内容を教えるに当たっての授業展開の円滑さや、中学校で積み上げられた学習成果を損なうことにもなりかねない。生徒の中学校での英語学習を高校の英語学習に円滑に結びつけ、効果的な学習指導を展開することが求められている。

## (2) 英語科の課題

中高接続期に効果的な学習指導を展開するためには、中学校教師と高等学校教師が相互理解を深めながら、高等学校の英語学習に円滑に接続できる具体的な学習指導の在り方を検討することが必要である。そこで、中学校・高等学校外国語科（中高部会）では、「中学生の英語学習の実態を踏まえた効果的な学習指導の在り方」を課題として捉え、調査研究に取り組むこととした。

この課題の解決策を検討するために、今年度の調査研究では高等学校が抱える問題意識を足がかりに、「中学生の英語学習の実態を把握する」ことを目指した。高校での英語学習は、中学までに学習してきたものに積み上げていく形で進めていくのがよいと考えられるが、実際には中学校での英語学習に関する情報を十分に共有することなく、高等学校の英語学習が展開されている。また、ここ数年、授業に対しての全般的な反応が鈍く、授業が分からない場合でも「わからない」という意思表示を示さない高校生の存在も伺える。こうした現状を踏まえ、以下の具体的な研究テーマを設定した。

## 3 研究テーマ

### 英語学習に関して高校入学時に生徒が抱えやすい問題の明確化

今年度は「中学生の英語学習の実態を把握する」ために、「英語学習に関して高校入学時に生徒が抱えやすい問題の明確化」を研究テーマとして設定した。そして、以下2つの領域について、中学生と中学校教師への意識調査をとおして、高等学校への入学を控えた中学校3年生が英語学習に関して抱えやすい問題の明確化に取り組んだ。

第一に、生徒の文法項目についての理解度の把握である。高等学校の英語学習では、当然求められる英語の読解内容も高度なものとなる。それを正しく理解しようとするれば、整理された文法知識が欠かせない。生徒の文法理解の現状と高等学校で用いられる英文との間に隔たりがあれば、読解へのマイナスの影響も考えられる。そこで、高等学校の英語授業を受けるに当たり、生徒の文法に関する理解度を確認することにした。

第二に、生徒の学習意欲・学習態度の把握である。高等学校での英語学習に意欲的に取り組むためには、なんらかの目的意識、モチベーションも必要である。生徒が自らの進路目標に絡めて中学校での英語学習をどのように捉えているのかについて、可能な限り正確に把握する必要があると考え、生徒の心理的な側面も確認することとした。

## 4 研究の取組

### (1) 調査材料

生徒の文法項目についての理解度及び学習意欲・学習態度の2領域について、ほぼ同じ内容の教員編と生徒編の2種類の質問紙を作成した。教員編(資料6)は公立中学校英語科教師が担当する中学3年生について、生徒編(資料8)は中学3年生が自分自身について回答したものである。それぞれの質問紙について以下に説明する。

#### ① 教員編(資料6)

数値化により客観的に実態を把握しその検証を行うとの認識に立ち、質問紙を作成した。特に、文法項目については、枝葉末節にわたる質問を避け、文型、時制、態、比較、準動詞といった英語の基本構造に関する内容に重点を置いた。このような日本語との異質性が顕著な面こそ、生徒が学習において最も困難を覚え、あるいはそれによって学習意欲を喪失し、同時に教える側においても、理解程度の把握に苦心するところではないかと考える。また、読む、聞く、話すという英語の諸技能についても、それぞれの授業に対する取組の意欲を可能な限り数値化し、教師の授業改善の資料としたいと考えた。

#### ② 生徒編(資料8)

文法項目や3技能については、教員編とほぼ同じ質問を設定した。同じ質問をすることにより、生徒自身の自己評価と実力との乖離を読み取るとともに、理解や意欲についての生徒、教師間の認識のギャップをも測ろうと考えた。さらに、生徒には、英語学習のモチベーションに関する質問を設定した。なぜ英語を勉強するのかという根源的な問いについての生徒の考え、及びその理由、原因を把握することも、今後の授業を構想する上で、資するところが大きいのではないかと考えた。

なお、生徒編の調査実施については、高校入試終了後を予定している。

### (2) 調査対象

- ① 埼玉県内の公立中学校教師 52名
- ② 埼玉県内の公立中学校3年生 160名(予定)

### (3) 調査時期

- ① 埼玉県内の公立中学校教師 平成24年10月～12月
- ② 埼玉県内の公立中学校3年生 平成25年3月(予定)

### (4) 調査方法

教員編については、調査用紙を各教師に配布し、記入後提出する方式とした。分析に当たってはSPSシステムによって処理が行われた。

## 5 成果と課題

### (1) 成果

教員編と生徒編の質問紙による調査結果を数値化することにより、「英語学習に

関して高校入学時に生徒が抱えやすい問題」を客観的に明確化した。その調査結果データ（資料 7）を踏まえ、以下のとおり考察した。

#### ① 教員編（資料 7）

教員編についての調査結果から、文法項目については、日本語からの類推が難しくないものについては相対的に生徒の理解度が高く、そうでないものについては理解度が低いと、中学校教師が感じていることが読み取れる。その結果を以下に 3 段階に分類した。

ア 生徒の学習到達度が高いと感じ、学習が上手く行われている項目  
時制、進行形、

イ 生徒の学習達成度があまり高く感じられず、学習にやや課題ありの項目  
現在完了、受動態、不定詞、動名詞、分詞、関係代名詞、比較

ウ 生徒の学習達成度が高く感じられず、学習に課題ありの項目  
文要素、S V O C・S V O O の文、間接疑問文、付加疑問文

特筆すべきは、高等学校で詳しく習うことになる文構造の理解度の低さである。「6 割以上の生徒が理解できている」と捉える中学校教師が 3 分の 1 にも満たない。高等学校の英語学習において、長い英文に生徒の理解が及ばないのは、句や節との理解を合わせての文構造の理解が不十分、不安定であることに因るところが大きいと考えられる。

他方、「読む・聞く・話す」という授業の諸側面の調査については、「読む」活動と、「話す・聞く」活動との間に有意差が見て取れる。すなわち、「読む」という静的、受動的な活動よりも、「話す・聞く」という現実に英語に触れ、それを自らコントロールしている感覚を伴う活動のほうにより強い興味があるものと分析される。よって、文法の正確な理解に配慮しながらも、生徒の学習意欲の喚起、維持のためには、音声面での指導をより多様なものにしていくことも重要である。

このように、文法の理解に不安があり、「読む」活動より「聞く・話す」という活動に強い興味があるという生徒の実態が明らかになった。また、自由記述欄に「高校で急にたくさんの文法用語が出てきて大変」という卒業生の声があったように、中学校と高等学校の接続において、文法指導の在り方に特に改善すべき点や認識の隔たりがあると思われる。

#### ② 生徒編（資料 9）

生徒編については、調査実施後に分析・考察する。

### （2）課題

上記の考察から、「文法指導」と「読む」「聞く・話す」をいかに関連づけ効果的な学習指導を展開するかを次年度の調査研究の課題として捉え、その解決策を検討していく。今年度末に実施する生徒編の調査結果を踏まえ、教師と生徒の認識の隔たりにも着目しながら、また、今年度作成した「Can-do リスト」による調査も想定して、高等学校の英語学習に円滑に接続できる具体的な解決策を検討する。

なお、高等学校 1 年段階での「Can-do リスト」や「橋渡し教材」についても関

連して考え、高等学校から中学校への情報発信としたい。

## 6 おわりに

今年度の調査研究については、中学生の英語学習に関する実態把握をとおして、中高接続に関する課題が考察された。また、協議をとおして中学校教師と高等学校教師が、教科指導に関して相互理解を深めることもできた。

中央教育審議会、教育課程部会、第15回外国語専門部会では、小中高のそれぞれの学校段階に関する主な議論で、「確かな学力の育成」の「外国語教育の改善」として、中学校では「外国語教育は、聞くことや書くことに力を入れることも重要であるが、その前提となる文法についても、十分な取組が必要である」、高等学校では「会話能力も重要であるが、基本的な部分として単語・文法・読解力も重要である」と述べている。このことは今年度の調査研究からも考察された課題でもある。

次年度の研究では、この課題と今年度の研究で明らかになった中学生の英語学習の実態を踏まえ、中学校と高等学校の教師の相互理解を一層深めながら、中高接続期における英語学習の効果的な学習指導の在り方を具体的に研究する。

# 自信あり！リスト 5年生

資料1

5- Name \_\_\_\_\_

★項目ごとに、自己評価しよう！

【 😊とても自信がある 😊自信がある 😞あまり自信がない 😞自信がない 】

項目	コミュニケーションの場面		あなたの自信度	Hi, friends! の Lesson
あいさつ	・かんたんなあいさつをする。	Hello. Nice to meet you. Thank you. Good-bye.	😊😊😞😞	1
	・相手に体の調子をたずねたり、答えたりする。	Hello. How are you? I'm fine, thank you.	😊😊😞😞	2
	・表情やジェスチャーをつけて、感情や様子を伝える。	I'm hungry. (happy, sleepy など)	😊😊😞😞	2
自己紹介	・自分の名前を言う。	Hello. My name is ~.	😊😊😞😞	1
	・相手に名前をたずねる。	What's your name?	😊😊😞😞	1
	・自分の好きなものやきらいなものを言う。	I like ~. I don't like ~.	😊😊😞😞	4
数字	・1～10までの数を言う。	one, two, three..., ten	😊😊😞😞	3
	・11～20までの数を言う。	eleven, twelve..., twenty	😊😊😞😞	3
	・21～30までの数字を言う。	twenty one ...,thirty	😊😊😞😞	6
	・数をたずねる。	How many pencils?	😊😊😞😞	3
インタビュー	・相手に好ききらいをたずねたり、答えたりする。	Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't.	😊😊😞😞	4
	・相手に何が好きかをたずねる。	What do you like?	😊😊😞😞	5
	・欲しいものについて、ていねいな言い方でたずねたり、答えたりする。	What would you like? I'd like a hamburger.	😊😊😞😞	9
アルファベット	・アルファベットの大文字を言う。	アルファベットの大文字 (A～Z)	😊😊😞😞	6
学校での学習や活動	・身の回りの物が何かとたずねたり、答えたりする。	What's this? It's a piano.	😊😊😞😞	7
	・曜日を言う。	Sunday, ...,Saturday	😊😊😞😞	8
	・教科を言う。	math, science, music...など	😊😊😞😞	8
	・時間割についてたずねたり、答えたりする。	What do you study on ~? I study ~on ~.	😊😊😞😞	8

★一年間をふり返って★

# 自信あり！リスト 6年生

資料2

6- Name \_\_\_\_\_

\*項目ごとに、自己評価しよう！

【 😊とても自信がある 😊自信がある 😞あまり自信がない 😞自信がない 】

項目	コミュニケーションの場面		あなたの自信度	Hi, friends! の Lesson
アルファベット	・アルファベットの小文字を言う。	アルファベットの小文字 (a ~ z)	😊 😊 😞 😞	1
数字	・31～100までの数字を言う。	thirty one, ...forty one, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, hundred	😊 😊 😞 😞	1
自己紹介・ インタビュー	・自分の誕生日を言う。	My birthday is March eighteenth.	😊 😊 😞 😞	2
	・相手に誕生日をたずねる。	When is your birthday?	😊 😊 😞 😞	2
	・自分ができること、できないことを言う。	I can ~. I can't ~.	😊 😊 😞 😞	3
	・相手にできるところをたずねたり、答えたりする。	Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.	😊 😊 😞 😞	3
	・将来つきたい職業についてたずねたり、答えたりする。	What do you want to be? I want to be a teacher. (nurse, pilot, singer など)	😊 😊 😞 😞	8
	・行きたい国についてたずねたり、言ったりする。	Where do you want to go? I want to go to Italy.	😊 😊 😞 😞	5
道案内	・目的地への行き方をたずねたり、言ったりする。	Where is the school? Go straight. Turn right / left.	😊 😊 😞 😞	4
日常生活	・持っているかどうかたずねたり、答えたりする。	Do you have ~ ? Yes, I do. / No, I don't.	😊 😊 😞 😞	1
	・時刻をたずねたり、言ったりする。	What time is it? It's ten forty.	😊 😊 😞 😞	6
	・一日の生活の時刻についてたずねたり、言ったりする。	What time do you get up? I get up at seven.	😊 😊 😞 😞	6

★ 1年間をふり返って★

# Hi, friends! 1 Let's enjoy English カルテ

NAME

資料3

単元名	コミュニケーションを図ろうとする意欲	外国語の音声や基本的な表現の慣れ親しみ	言語や文化についての体験的な気付き	SUNSHINE
Lesson1 Hello! 世界のいろいろな言葉であ いさつしよう	○積極的に挨拶をする。 ・名刺を作って交換できた。	○英語での挨拶や自分の名前 の言い方に慣れ親しむ。 ・ Hello, my name is～. と 言えた。 ・ What's your name? と 言えた。	○世界には様々な言語がある ことを知る。 ・いくつかの国のあいさつを 知った。	1年 Let's Start1 Program2
Lesson2 I'm happy. ジェスチャーをつけてあい さつしよう	○表情やジェスチャーをつけ て相手に感情や様子を積極 的に伝える。 ・ジェスチャーをつけてあい さつをした。	○感情や様子を表したり尋ね たりする表現に慣れ親しむ。 ・ I'm～. (hungry, happy, sleepy, fine…) と言えた。 ・ How are you? と言えた。	○感情やジェスチャーなどの 言葉によらないコミュニケー ションの大切さや、世界に は様々なジェスチャーがあ ることに気付く。 ・国によってジェスチャー のやり方が違うことを知 った。	Let's start1
Lesson3 How many? いろいろなものを数えよう	○積極的に数を数えたり、尋 ねたりする。 ・身近にある物を数えた。	○1～20の数の言い方や数 の尋ね方に慣れ親しむ。 ・ 1～20までを言えた。 ・ How many～? と言えた。	○言語には、それぞれの特色 があることを知る。 ・いくつかの国の数え方を 知った。	1年 Program4 Word Web1
Lesson4 I like apples. 好きなものを伝えよう	○好きなものや嫌いなもの について、積極的に伝える。 ・友だちの好きなものや嫌 いなものをインタビューし た。	○好きなものや嫌いなもの を表したり尋ねたりする表 現に慣れ親しむ。 ・ I like～. (apples, milk, dogs…) と言えた。 ・ I don't like～. と言 えた。 ・ Do you like～? と 言えた。	○日本語と英語の音の違い に気付く。 ・「アップル」と「apple」 等の違いに気付いた。	1年 Let's Start3 Program3 My Project1
Lesson5 What do you like? 友だちにインタビューし よう	○好きなものについて、積 極的に尋ねたり、答えたり する。 ・ペアになり、お互いの好 きな色や形を伝え合う。	○色や形、好きなものは何 かを尋ねる表現に慣れ親 しむ。 ・ I like～. (blue, red, star …) と言えた。 ・ What～(food, animal, color…) do you like? と言えた。	○日本語と英語の音の違い に気付く。 ・「レッド」と「red」等 の違いに気付いた。	1年 Program4
Lesson6 What do you want? アルファベットをさがそう	○積極的にアルファベット の大文字を読んだり、欲し いものを尋ねたり、答えたり する。 ・アルファベットの大文字 を知って、その大文字を見 つけたり、線で結んだりし た。	○アルファベットの文字と その読み方とを一致させ、 欲しいものを尋ねたり答え たりする表現に慣れ親し む。 ・ A～Zまで言えた。 ・ What do you want? と 言えた。 ・ I want～ (the C card 等), please. と言えた。	○身の回りにはアルファベ ットの大きな文字で表現さ れているものがあることに 気付く。 ・身近にあるアルファベ ットの大きな文字を見つ けた。	1年 Program1
Lesson7 What's this? クイズ大会をしよう	○ある物について積極的に それが何かと尋ねたり、答 えたりする。 ・シルエットクイズやパズ ルクイズ等英語を使って クイズを出し合った。	○ある物が何かと尋ねたり 、答えたりする表現に慣 れ親しむ。 ・ What's this? と言 えた。 ・ It's～. (fish, cup, eraser… 身近にある物) が言えた。	○日本語と英語の共通点 や相違点から、言葉のお もしろさに気付く。 ・「ノート」と「notebook」 等の共通点や相違点を 知った。	1年 Program5
Lesson8 I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう	○時間割について積極的に 尋ねたり、答えたりする。 ・「夢の時間割」を作成し た。	○時間割についての表現 や尋ね方に慣れ親しむ。 ・ 曜日や教科を英語で 言えた。 ・ What do you study on ～. (Monday…) と 言えた。 ・ I study～. (Japanese, science …) と 言えた。	○世界の小学校の学校生 活に興味を持つ。 ・日本と他の国では、学 んでいる教科等に違い があることを知る。	1年 Program4 Word Web2
Lesson9 What would you like? ランチメニューを作ろう	○欲しいものについて丁寧 に積極的に尋ねたり、答え たりする。 ・お客と店員の役に分か れて、英語でランチを 注文した。	○欲しいものについての 丁寧な表現の仕方や尋 ね方に慣れ親しむ。 ・ What would you like? と言えた。 ・ I'd like～. (milk, pizza …) と 言えた。 ・ Yes, please. と 言えた。	○世界の料理に興味を持 ち、欲しいものを尋ねたり 言ったりする際、丁寧な 表現があることに気付 く。 ・「What do you want?」 と「What would you like?» の違いを知った。	2年 Program6 POWER-UP Speaking3 3年 POWER-UP Speaking2

# Hi, friends! 2 Let's enjoy English カルテ

NAME

単元名	コミュニケーションを図ろうとする意欲	外国語の音声や基本的な表現の慣れ親しみ	言語や文化についての体験的な気づき	SUNSHINE
Lesson1 Do you have "a"? アルファベットクイズを作ろう	○積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり、答えたりする。 ・お互いに、ほしいアルファベットカードを伝えて、カードを交換した。	○31～100の数の言い方やアルファベットの小文字、あるかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・31～100までを言えた。 ・a～zまで言えた。 ・Do you have～? (a b c…)と言えた。	○世界には様々な文字があることを知る。 ・いくつかの国の動物や数の表し方を知った。	1年 Program1 Word Web1
Lesson2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう	○積極的に誕生日を尋ねたり、誕生日を答えたりする。 ・友だちに誕生日を尋ねて、誕生日カードを渡した。	○英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・序数の言い方を知る。(first, fifth…) ・My birthday is ～.と言えた。 ・When is your birthday?と言えた。	○世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付く。 ・日本と外国の行事の違いを知った。	1年 Word Web3 Program7
Lesson3 I can swim. できることを紹介しよう	○積極的に友だちに「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。 ・Who am I?クイズを出し合い、自分の「できる」「できない」を紹介した。	○「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 ・I can～.と言えた。 ・I can't～.と言えた。	○言語や人、それぞれに違いがあることを知る。 ・「できる」「できない」ことを伝え合うことで、自分と友だちには違いがあることを知った。	1年 Let's Start3 Program8
Lesson4 Turn right. 道案内をしよう	○積極的に道を尋ねたり、道案内をしたりする。 ・教室に簡単な町を作って、英語を使って道案内をした。	○目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・建物を言えた。(park, school…) ・人の動き方を言えた。(Go straight. Turn Left…) ・Where is the～?と言えた。	○英語と日本語とでは、建物の表し方が違うことに気付く。 ・「デパート」と「department store」等の違いを知った。	2年 POWER-UP Speaking4 3年 POWER-UP Speaking3
Lesson5 Let's go to Italy. 友だちを旅行にさそおう	○自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの色について発表したり、友だちの発表を積極的に聞いたりする。 ・自分の行きたい国についてショー・アンド・テルをした。	○行きたい国について尋ねたり、言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・I want to go to ～.と言えた。 ・I want to see(eat …) ～.と行きたい理由を言えた。	○世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。 ・さまざまな国の映像を見て、世界の人々の生活を知った。	2年 Program6
Lesson6 What time do you get up? 一日の生活を紹介します	○積極的に自分の一日を紹介したり、友だちの一日を聞き取ったりする。 ・自分の一日の様子を英語を使って紹介した。	○生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・時刻を言えた。(At 11:30.) ・生活を表す表現を言えた。(get up 等)	○世界には時差があることに気付く、世界の様子に興味を持つ。 ・インターネットでのリアルタイムの映像を見ながら、世界には時差があることを知った。	1年 POWER-UP Speaking1
Lesson7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう	○積極的に英語で物語の内容を伝える。 ・桃太郎の話をもとにグループを作ってオリジナルの物語を作り、発表した。	○まとまった英語の話の話を聞いて、内容が分かり、場面にあったセリフを言う。 ・Hello, Momotaro. How are you?等の基本となるセリフを言えた。 ・今までの学習をもとにオリジナルのセリフを言えた。(I'm a big boy.等)	○世界の物語に興味を持つ。 ・日本や世界の民話を聞き、民話の楽しさを知った。	
Lesson8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう	○積極的に自分の将来の夢について交流する。 ・自分の将来の夢についてショー・アンド・テルをした。	○どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・さまざまな職業を言えた。(singer 等) ・I want to be～.と言えた。 ・What do you want to be?と言えた。	○世界には様々な夢をもった同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して言語の面白さに気付く。 ・教師→「教える」+「師」(人) ・teacher→「teach」+「er」等	2年 Program6 My Project5

小学校の外国語活動を終えて 中学校の英語を学んで

## 中学英語 Can-doリスト

☆各項目で「あてはまる」「だいたいあてはまる」と思うものに○をつけてみましょう。

技能	項目	チェック欄	
聞く	1	ゆっくり(または繰り返し)簡単な英語で話してもらえば、日常生活の身近な話題に関する話を聞いて、その内容を理解することができる。(学校、部活動、休日の話など)	
	2	ゆっくり(または繰り返し)簡単な英語で話してもらえば、興味・関心のある話題に関する話を聞いて、その内容を理解することができる。(趣味に関すること、好きなスポーツや音楽のことなど)	
	3	ゆっくり(または繰り返し)簡単な英語で話してもらえば、道案内を聞いて、その内容を理解することができる。	
	4	ゆっくり(または繰り返し)簡単な英語で話してもらえば、アナウンスを聞いて、重要な情報を理解することができる。(集合場所、乗り物の出発や到着の時刻など)	
	5	ゆっくり(または繰り返し)簡単な英語で話してもらえば、授業中に日本人の英語の先生やALTが行うスキットなどの内容を理解することができる。	
	6	授業中に、先生の英語での指示や説明を聞いて、その内容を理解することができる。	
話す	1	簡単な英語で、自己紹介をすることができる。	
	2	自分の好きなことについて、簡単な英語で話すことができる。(趣味、スポーツ、音楽など)	
	3	日常生活の行動について、簡単な英語で話すことができる。 (例:I get up at six. / I play tennis after school.)	
	4	自分の予定について、簡単な英語で話すことができる。(例:I'm going to practice soccer next Sunday.)	
	5	What, Who, Where, When, Howなどで始まる質問に簡単な文で答えたり、相手に質問したりすることができる。	
	6	身近な話題について、ALTと簡単なやりとりができる。	
読む	1	身近な話題に関する簡単な文章を理解することができる。(学校生活、部活動、趣味など)	
	2	教科書の読み物教材など、短くて簡単な物語の大まかな内容を理解することができる。 (簡単な伝記や童話など)	
	3	辞書を使わなくても、短い手紙やEメールなどの内容を理解できる。	
	4	初めて見る文章でも、2年生の教科書程度の文章なら、意味を考えながらだいたい音読できる。	
	5	2年生の教科書をスラスラ音読できる。	
	6	3年生の教科書を自分で音読できる。	
書く	1	自己紹介を10文程度の文章で書くことができる。	
	2	自分の好きなことなどについて、5文程度のまとまりのある文章で書くことができる。	
	3	身近な人物などを紹介する文章を、簡単な英語で書くことができる。	
	4	絵はがきやカード、Eメールなどで簡単なメッセージを書くことができる。	
	5	自分の意見や感想を2～3文の簡単な文章で書くことができる。	
	6	曜日、月の名前、季節、数字(1～20)を表す単語を正確に書くことができる。	
その他	1	英和辞典を使うことができる。	
	2	和英辞典を使うことができる。	
	3	人名や地名などを、ローマ字で読んだり書いたりできる。	

☆中学校3年間の英語学習でどんな力が身についたと思いますか？自由に書いてみましょう。

## リスト項目説明資料

リスト項目	書くこと 5 自分の将来の夢（行ってみたい国や就いてみたい職業など）について書くことができる。
学年	2年
実施時期	11月
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 My Project 5 (p.74~p.78)
学習内容	将来、自分が就きたい職業について、50語程度でスピーチ原稿を書かせる。 原稿の作成に当たっては、スピーチの組み立て(opening⇒body⇒ending)を学ばせる。また、マッピングの手法を活用し、書きたい内容を整理させ、徐々に原稿を完成させる。
主な言語材料等	「はじめに」で使える表現 ○ <u>I'd like to talk about my dream.</u>  「展開」で使える表現 ○ <u>When I am sixteen years old, I will win the Masters Tournament.</u>  ○ <u>I'll be happy if people like my food.</u>  ○ <u>For example, people in America like Japanese food.</u>  「結び」で使える表現 ○ <u>Finally, I'd like to say "thank you" to all the people around me.</u>

# リスト項目説明資料

リスト項目	話すこと② 自分の好きなことについて、簡単な英語で話す事ができる。 (趣味、スポーツ、音楽など)
学年	1年
実施時期	6月
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 Program3 section2 (p.32~p.33)
学習内容	「相手の好きなものについてたずねたり、自分の好きでないものを言ったりできる。」というテーマに基づき、インタビューアクティビティーを行い、定着を図る。 また、普段することなどにも言及できるようにもする。
主な言語材料等	自分の好きなものを相手に伝える表現 ○ <u>I like music.</u>  相手が好きかどうかをたずねる表現 ○ <u>Do you like music?</u>  その質問に答える ○ <u>Yes, I do.</u> I like music. / <u>No, I don't.</u> I don't like music.  相手が普段することについてたずねる表現。 ○ <u>Do you play soccer?</u>

## < 指導資料 >

Date \_\_\_\_\_  
Day \_\_\_\_\_ Class No. Name \_\_\_\_\_

**Prog-2「きみは〇〇しますか。( )」**  
(あなたは \_\_\_\_\_ のファンですか。)

☆ \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

➡ (あなたは \_\_\_\_\_ が好きですか。)

(O: はい、そうです。) (X: いいえ、ちがいます。)

①私はAKBのファンです。  
\_\_\_\_\_

② ①の「私」を「あなた」に変えて、「あなたはAKBのファンですか」と質問する文(疑問文)にしない。  
\_\_\_\_\_

③私は「あっちゃん」が好きです。  
\_\_\_\_\_

④ ③の「私」を「あなた」に変えて、「あなたは「あっちゃん」を好いてますか。」と質問する文(疑問文)に書き換えなさい。  
\_\_\_\_\_

⑤ ④の返答として「いいえ、私は「あっちゃん」を好いてはいません。」という意味の英語を述べなさい。  
\_\_\_\_\_

Date \_\_\_\_\_  
Day \_\_\_\_\_ Class No. Name \_\_\_\_\_

**Interview Practice**  
テーマ: スポーツや音楽でどれが好きなのか、クラスの友達と英語で意見交換をしよう!

あなたは音楽ファンですか。  
\_\_\_\_\_

Oはい、そうです。/Xいや、ちがうよ。  
\_\_\_\_\_

あなたは誰が好きですか。  
\_\_\_\_\_

Oはい、そうです。/Xいや、ちがうよ。  
\_\_\_\_\_

Music	好きな人	特に誰…	Sports	好きな人	特にどのゲーム
Arashi			Basketball (バスケット)		
AKB			Tennis (テニス)		
SKE			Baseball (野球)		
Pufume			Volleyball (バレー)		
阿でもしいいよ			soccer (サッカー)		

次の場合、英語でなんと言うか、例に倣って書いてみよう。  
(1) 自分が〇〇のファンであると伝えてみる。 例) Do you ...?  
\_\_\_\_\_

(2) 自分の好きなものを伝えてみよう。 例) I like ...  
\_\_\_\_\_

(3) 自分の好きでないものを伝えてみよう。 例) I don't like ...  
\_\_\_\_\_

## リスト項目説明資料

リスト項目	話すこと② 英語のメモをもとにして、自分が行きたい国を紹介するスピーチをすることができる。
学年	2年
実施時期	12月
教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES 2 LESSON 8 Mini-project (p. 98~p. 99)
学習内容	自分が言ってみたい国について、①地域②言語③通貨④特有の事物、等について英語でメモを書く。 メモをもとに、自分が言ってみたい国について聞き手に正しく伝える。
主な言語材料等	<input type="radio"/> <u>I am going to tell you about India.</u> <input type="radio"/> <u>India is located in South Asia.</u> <input type="radio"/> <u>A lot of languages are spoken in this country.</u> <input type="radio"/> <u>The rupee is used there.</u> <input type="radio"/> <u>India is known for saris and Indian curry.</u> <input type="radio"/> <u>I want to visit India someday.</u>

## リスト項目説明資料

リスト項目	書くこと③ 自分の学校の ALT にインタビューをし、インタビューの内容をもとにプロフィール表にまとめることができる。
学年	3年
実施時期	5月
教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 LESSON 3 Mini-project (p. 30～p. 31)
学習内容	ALT に①名前②出身地③日本での滞在年数④日本に来た目的⑤日本での訪問地⑥日本について興味を持ったこと、等についてインタビューする。 インタビューでわかった情報をプロフィール表に英語で正しく書く。
主な言語材料等	<input type="radio"/> <u>How long have you been in Japan?</u> <input type="radio"/> <u>What did you want to come to Japan?</u> <input type="radio"/> <u>Where have you been in Japan?</u> <input type="radio"/> <u>What kind of things are you interested in?</u> <input type="radio"/> <u>How long have you taught English?</u> <input type="radio"/> <u>What was your first impression of Japan?</u>



平成24年度「学校間の接続に関する調査研究」  
外国語活動・外国語部会 アンケート（英語教員編）

□ アンケートの目的

英語教育における中学校と高等学校との接続をより円滑に行うための研究を行っています。改善すべき点を探るための参考資料となるよう、アンケートにご協力ください。なお、調査対象者としては中学校3年生を念頭においてお答えください。

(1) 学習到達度について

以下の項目に対して、担当生徒がどの程度理解できていると思うかについて、①8割以上の生徒が理解できている、②6割程度の生徒が理解できている、③4割程度の生徒が理解できている、④2割程度の生徒が理解できているの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

		担当生徒の理解度（学習到達度）			
		8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている
1	現在時制、過去時制、未来表現	○	○	○	○
2	進行形	○	○	○	○
3	現在完了（完了、経験、継続）	○	○	○	○
4	受動態	○	○	○	○
5	文要素（S、V、O、C）に関する理解	○	○	○	○
6	SVOC型、SVOO型の文	○	○	○	○
7	不定詞の3用法	○	○	○	○
8	動名詞	○	○	○	○
9	現在分詞、過去分詞	○	○	○	○
10	関係代名詞	○	○	○	○
11	間接疑問文	○	○	○	○
12	付加疑問文	○	○	○	○
13	比較	○	○	○	○

(2) 高校英文法の導入について

高校英文法の導入について、①積極的に導入している、②積極的ではないが導入している、③導入しようとしている、④導入しないの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

		高校英文法の導入			
		積極的に導入している	積極的ではないが導入している	導入しようとしている	導入しない
1	高校英文法の導入（関係副詞、仮定法過去等）	○	○	○	○

裏面にも質問があります。

★マークのしかた



(3) 学習意欲・学習態度について

以下の項目に関しての担当生徒の学習意欲・学習態度を、①積極的である、②まあまあ積極的である、③やや消極的である、④消極的であるの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

		生徒の学習意欲・学習態度			
		積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である
1	スピーキング（話そうとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
2	リーディング（読解しようとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
3	リスニング（聞こうとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
4	音読練習	○	○	○	○

(4) 【自由記述設問】(1)～(3)の各質問に関して、具体的なことがありましたらお書きください。なお、質問以外のことでも、何かありましたらお書きください。また、「どのような点に注意・工夫すると生徒の学習意欲が増すか」についても、何かありましたらお書きください。

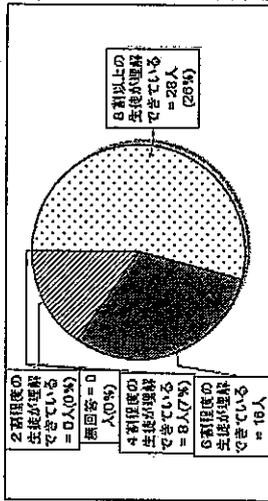
集計結果一覧

以下の学習到達度について、担当生徒がどの程度理解できているかと思うかについて、①8割以上の生徒が理解できている、②6割程度の生徒が理解できている、③4割程度の生徒が理解できている、④2割程度の生徒が理解できているの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

1. 現在時制、過去時制、未来表現

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
28 53%	16 30%	8 15%	0 0%	0 0%	52 100%

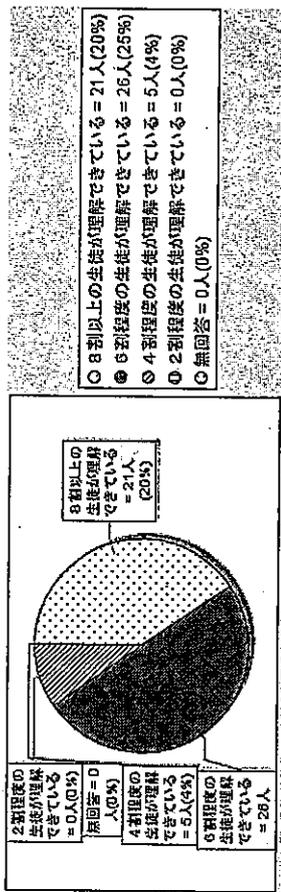


① 8割以上の生徒が理解できている = 28人(53%)  
② 6割程度の生徒が理解できている = 16人(30%)  
③ 4割程度の生徒が理解できている = 8人(15%)  
④ 2割程度の生徒が理解できている = 0人(0%)  
⑤ 無回答 = 0人(0%)

2. 進行形

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
21 40%	26 50%	5 9%	0 0%	0 0%	52 100%

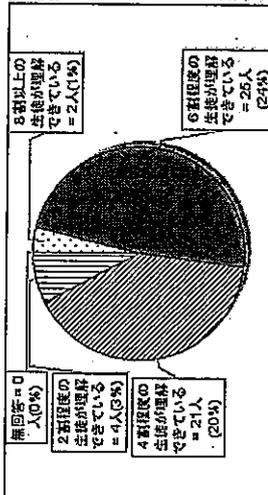


① 8割以上の生徒が理解できている = 21人(20%)  
② 6割程度の生徒が理解できている = 26人(25%)  
③ 4割程度の生徒が理解できている = 5人(4%)  
④ 2割程度の生徒が理解できている = 0人(0%)  
⑤ 無回答 = 0人(0%)

3. 現在完了(完了、経験、継続)

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
2 3%	25 48%	21 40%	4 7%	0 0%	52 100%



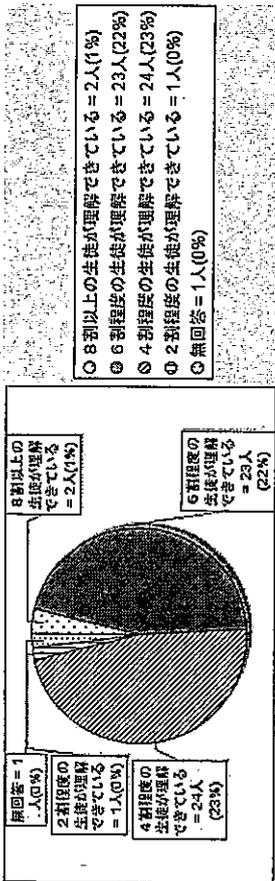
① 8割以上の生徒が理解できている = 2人(1%)  
② 6割程度の生徒が理解できている = 25人(24%)  
③ 4割程度の生徒が理解できている = 21人(20%)  
④ 2割程度の生徒が理解できている = 4人(3%)  
⑤ 無回答 = 0人(0%)

4. 受動態

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
2 3%	23 45%	24 47%	1 1%	1 1%	51 100%

※ 多重回答エラー-1 (1%)を除く

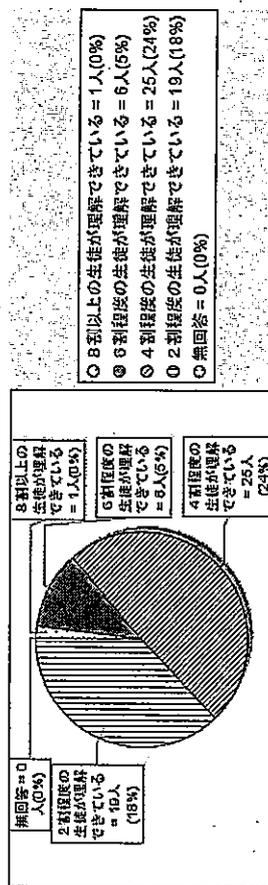


5. 文要素(S、V、O、C)に関する理解

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
1 1%	6 11%	25 49%	19 37%	0 0%	51 100%

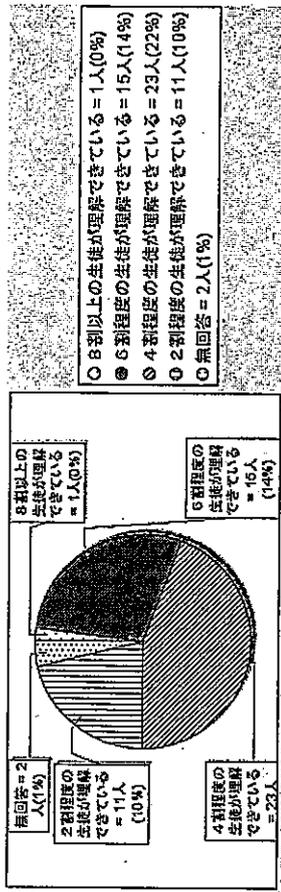
※多重回答エラー:1(1%)を除く



6. SVOC型、SVOO型の文

担当生徒の理解度(学習到達度)

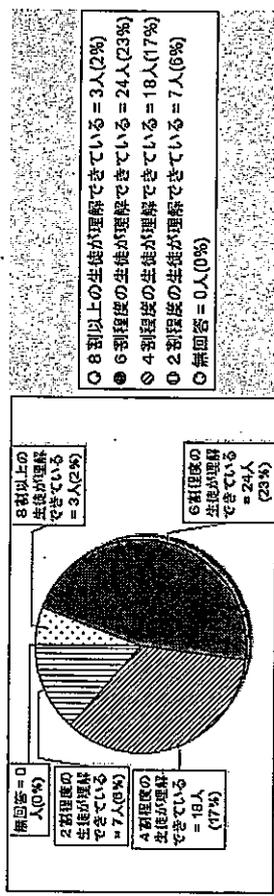
8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
1 1%	15 28%	23 44%	11 21%	2 3%	52 100%



7. 不定詞の3用法

担当生徒の理解度(学習到達度)

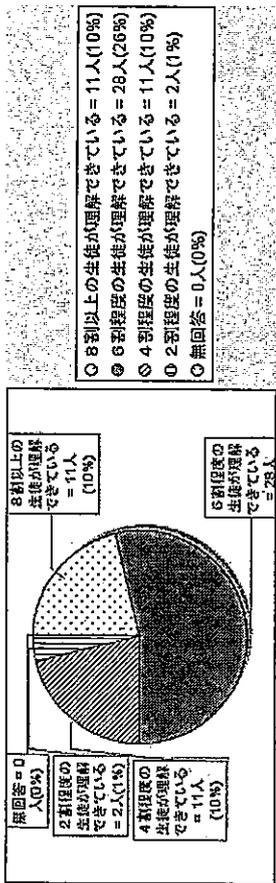
8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
3 5%	24 46%	18 34%	7 13%	0 0%	52 100%



8. 動名詞

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
11 21%	28 53%	11 21%	2 3%	0 0%	52 100%

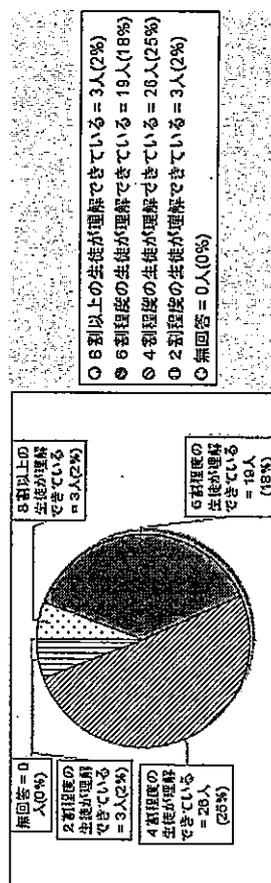


9. 現在分詞, 過去分詞

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
3	19	26	3	0	51
5%	37%	50%	5%	0%	100%

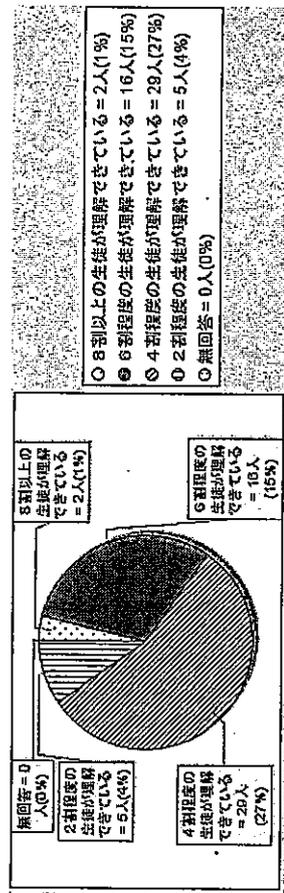
※ 多重回答エラー=1 (1%)を除く



10. 関係代名詞

担当生徒の理解度(学習到達度)

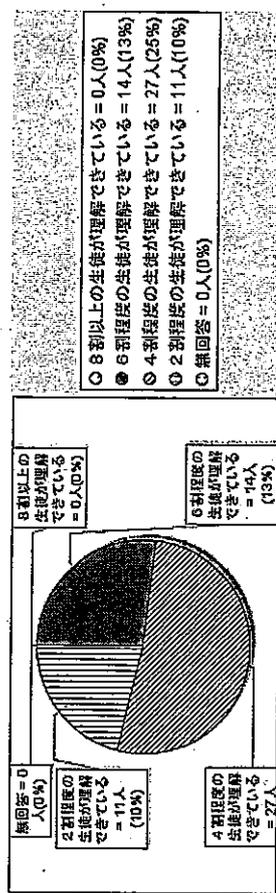
8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
2	16	29	5	0	52
3%	30%	55%	9%	0%	100%



11. 間接疑問文

担当生徒の理解度(学習到達度)

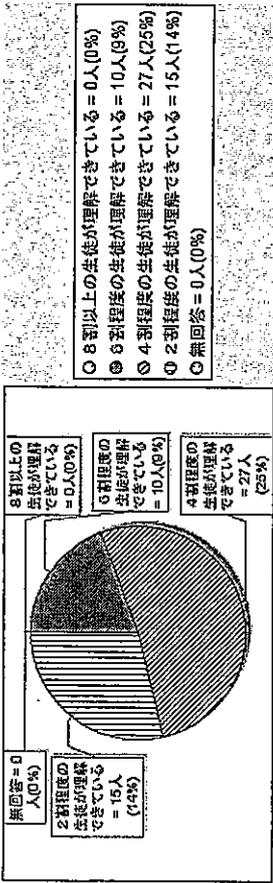
8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
0	14	27	11	0	52
0%	26%	51%	21%	0%	100%



12. 付加疑問文

担当生徒の理解度(学習到達度)

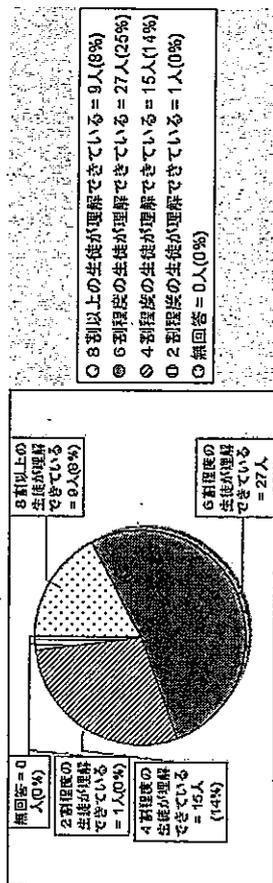
8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
0	10	27	15	0	52
0%	19%	51%	28%	0%	100%



13. 比較

担当生徒の理解度(学習到達度)

8割以上の生徒が理解できている	6割程度の生徒が理解できている	4割程度の生徒が理解できている	2割程度の生徒が理解できている	無回答	計
9 17%	27 51%	15 28%	1 1%	0 0%	52 100%

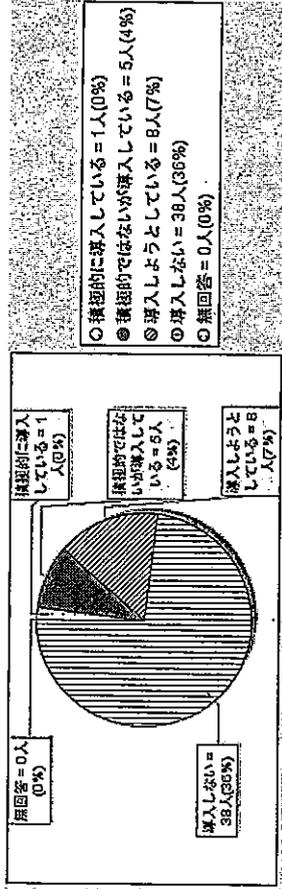


② 高校英文法の導入について、①積極的に導入している、②積極的に導入していないが導入している、③導入しようとしている、④導入しないの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

1. 高校英文法の導入(関係副詞、仮定法過去等)

高校文法の導入

積極的に導入している	積極的に導入していない	導入しようとしている	導入しない	無回答	計
1 1%	5 9%	8 15%	38 73%	0 0%	52 100%

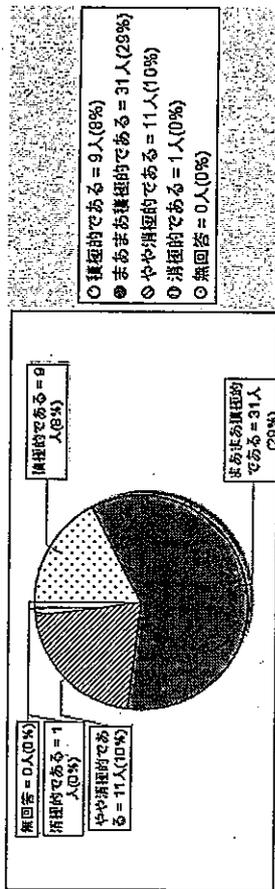


③ 学習意欲・学習態度について、以下の項目に關しての担当生徒の学習意欲・学習態度を、①積極的に、②まあまあ積極的である、③やや消極的である、④消極的であるの4段階でお答えください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

1. スピーキング(話そうとする姿勢・意欲等)

生徒の学習意欲・学習態度

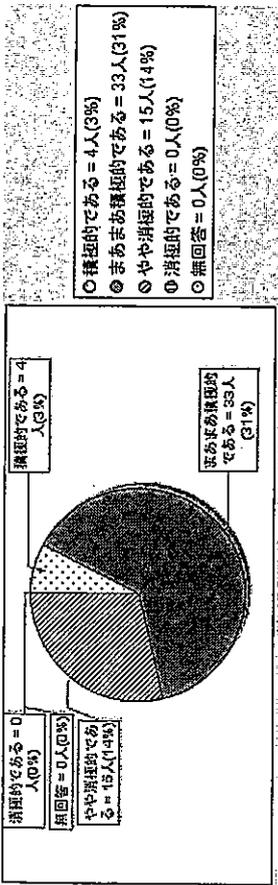
積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である	無回答	計
9 17%	31 59%	11 21%	1 1%	0 0%	52 100%



2. リーディング(読解しようとする姿勢・意欲等)

生徒の学習意欲・学習態度

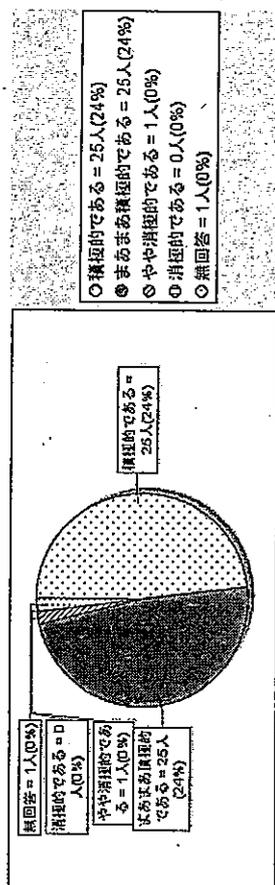
積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である	無回答	計
4 7%	33 63%	15 28%	0 0%	0 0%	52 100%



3. リスニング(聞こえ)の姿勢・意欲等)

生徒の学習意欲・学習態度

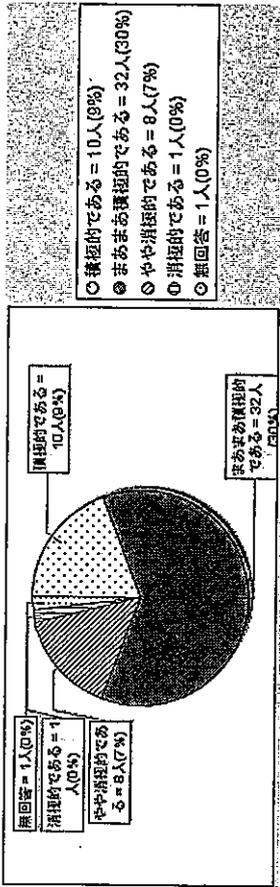
積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である	無回答	計
25	25	1	0	1	52
48%	48%	1%	0%	1%	100%



4. 音読練習

生徒の学習意欲・学習態度

積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である	無回答	計
10	32	8	1	1	52
19%	61%	15%	1%	1%	100%





## 平成24年度「学校間の接続に関する調査研究」 外国語活動・外国語部会 アンケート（生徒編その1）

### □ アンケートの目的

英語教育における中学校と高等学校との接続をより円滑に行うための研究を行っています。改善すべき点を探るための参考資料となるよう、アンケートにご協力ください。

### (1) 学習到達度について

以下の項目に対するみなさんの理解度（学習達成度）を、①理解できている、②ほぼ理解できている、③やや不安あり、④不安ありの4段階で回答してください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。各項目に挙げた例文を理解できるかどうかを判断材料にしてください。

		みなさんの理解度（学習達成度）			
		理解できている	ほぼ理解できている	やや不安あり	不安あり
1	時の表し方（現在形） He is my brother.	○	○	○	○
2	時の表し方（過去形） I played baseball yesterday.	○	○	○	○
3	時の表し方（進行形） We are playing baseball now.	○	○	○	○
4	時の表し方（未来表現） It will rain tomorrow.	○	○	○	○
5	助動詞（can） She can swim very well.	○	○	○	○
6	助動詞（must） You must go to bed by eleven.	○	○	○	○
7	現在完了（完了） I have just finished my homework.	○	○	○	○
8	現在完了（経験） I have been to London before.	○	○	○	○
9	現在完了（継続） I have lived in Saitama for ten years.	○	○	○	○
10	受動態 This book is read by many people.	○	○	○	○
11	不定詞（名詞的用法：～すること） I like to play the guitar.	○	○	○	○
12	不定詞（形容詞的用法：～すべき） I have a lot of things to do today.	○	○	○	○
13	不定詞（副詞的用法：～するために） I went to the store to buy a shirt.	○	○	○	○
14	動名詞 I enjoyed playing the guitar.	○	○	○	○
15	比較（比較級） Jiro is taller than Taro.	○	○	○	○
16	比較（最上級） He is the tallest in his class.	○	○	○	○
17	比較（原級による比較級） I can swim as fast as Ken.	○	○	○	○
18	関係代名詞 I have a friend who lives in Kyoto.	○	○	○	○
19	関係代名詞（省略できるもの） She is the singer (whom) I like best.	○	○	○	○
20	文の成り立ち The news made them happy.	○	○	○	○
21	いろいろな疑問文 Do you know who the woman is?	○	○	○	○

★マークのしかた



(2) 学習意欲・学習態度について

以下の項目に関してのあなたの学習意欲・学習態度を、①積極的である、②まあまあ積極的である、③やや消極的である、④消極的であるの4段階で回答してください。あてはまるもの1つだけにマークしてください。

		あなたの学習意欲・学習態度			
		積極的である	まあまあ積極的である	やや消極的である	消極的である
1	スピーキング（話そうとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
2	リーディング（読解しようとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
3	リスニング（聞こうとする姿勢・意欲等）	○	○	○	○
4	音読練習	○	○	○	○

(3) 【自由記述設問】(1)(2)の各項目や各項目以外のことについて、具体的なことがありましたら記入してください。また、(2)に関連して「英語の授業でどのような工夫・改善があれば、自分の学習意欲がさらに増すか」についても、記入してください。



## 平成24年度「学校間の接続に関する調査研究」 外国語活動・外国語部会 アンケート（生徒編その2）

### □ アンケートの目的

英語の学習を続けていくためには、何のために学ぶのかという明確な目的意識を持ち続けることが必要となります。そこで、以下の質問により、現在のみなさんの英語の学習に対する意識を調査し、今後の授業改善に役立てたいと思います。

1 あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

- (1) なぜ、たくさんある外国語の中で、特に英語を学ばなければならないか、その理由が理解できる。  
 完全に理解できる       なんとなく理解できる       あまり理解できてない       全く理解できない
- (2) 将来、仕事で英語を使いそうな気がする。  
 とても       まあまあ       あまりそういう気がしない       全くそういう気がしない
- (3) 英語が話せれば、カッコいいと思う  
 とても       まあまあ       あまりそういう気がしない       全くそういう気がしない
- (4) 英語の文法は得意である。  
 非常に得意       まあまあ得意       あまり得意ではない       全くわからない
- (5) 英語を使うのに、文法の知識など必要ない。  
 全くそのとおり       だいたいそう思う       あまり思わない       全く思わない
- (6) きちんとした日本語を使うには、日本人でも、日本語の文法を学習する必要がある。  
 全くそう思う       どちらかというと思う       少しそう思う       全くそう思わない
- (7) 英語の学習の際、一番優先しなければならない技能はどれか。  
 聴く力       読む力       書く力       話す力
- (8) 英語の授業で一番楽しく感じるのは、どの時か。  
 聴くとき       読むとき       書くとき       話すとき
- (9) 英語は、ただの暗記科目だと思う。  
 全くそう思う       どちらかというと思う       少しそう思う       全くそう思わない
- (10) 英語を学ぶ際に、同時に身につけなければならないのはしたのどれか。  
 論理的な考え方       世界の歴史       文化・習慣の違い       ①～③は全く必要ない
- (11) 英語を公用語（その国で通常使っている言葉）にしている国を、少なくとも3つ以上言える。  
 3つ以上       2つ       1つ       全く言えない

★マークのしかた



(12) 【自由記述設問】(1)～(11)について、その選択肢を選んだ具体的な理由がありましたら記入してください。

Blank area for writing answers.